学校番号	T1206

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	(通)(学)国語演習	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	なし						
副教材等	速読＋要約＆語彙チェック　論理 10・文学 10A(尚文出版) キーワードの卵(尚文出版)						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、情報を整理し「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
・家庭学習における課題は、定期的に提出してもらいます。語句をおぼえ、日常生活で使用できるよう意識してください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
　要点をすばやく的確にとらえる力、全体を把握する力、理解や思考を支える語彙力、これら３つの養成を通じて、内容理解の伴う速読ができるようになる。
【思考力、判断力、表現力等】
　論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになる。
【学びに向かう力、人間性等】
　言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を持つ。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	文章の要点を短時間で正確に把握する力を身に付けている。 読解を支える語彙力を体系的に習得している。 内容理解を伴った速読ができている。	文章全体を統合的に捉え、要点を整理して表現できている。 根拠に基づいて内容を説明することができている。 論理的に考え、自分の考えを簡潔にまとめる力を身に付けている。	言葉の価値や意義を理解し、主体的に言語活動に取り組む態度をもっている。 他者との関わりの中で、自らの理解を深めようとする姿勢を育んでいる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
後期1～8回	国語の基礎を学ぶ ［教材］ 速読＋要約＆語彙チェック 論理 10・文学 10A ［教材］ キーワードの卵	a：日常的な言語活動と評論・小説を読む際に必要となることばに着目し、身に付けている。すばやく正確に読む能力を身に付けている。 b[　書　]：要点をすばやく的確にとらえる力、全体を把握する力を要約において表現することができている。 c：学習の中で得た知識を使い、主体的にプリントの問いに答えることができている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　4　）時間

・読むこと　…　（　4　）時間